

福祉体験・ボランティア 学習(研修)のご案内

総合学習 人間と社会 等

江東区社会福祉協議会
マスコットキャラクター
「ふっこくー」



江東区ボランティア・地域貢献活動センター

【所在地】〒135-0016

江東区東陽6-2-17 高齢者総合福祉センター2階

江東区社会福祉協議会内

【TEL】 03-3645-4087 【FAX】 03-3699-6266

【Mail】 kvac@koto-shakyo.or.jp



依頼方法

依頼

「福祉体験・ボランティア学習申込書」を提出

必要事項を記入し**希望日から60日前まで**にご提出ください。

また、申込書は1カリキュラムにつき1枚となります。

【送付先】FAX(03-3699-6266)

メール(kvac@koto-shakyo.or.jp)

「福祉教材借用申請書」を提出

点字盤、車椅子、アイマスク等の福祉教材が必要な体験は、実施日が確定後に当協議会の福祉サービス課にご連絡いただき、申請手続きをして下さい。(TEL:03-3647-1898)

※福祉教材の貸出は無料になりますが、**運搬に関しましては学校負担となりますのでご了承下さい。**

打合せ

体験日から約1週間前に、当日の流れや必要物品の確認のため打ち合わせを行います。

実施

講師指導のもと、講義・体験を実施

配付資料や物品の準備、児童・生徒の統率は学校にお願いします。

交通費・謝礼金の支払

交通費・謝礼金の支払い

各体験の「経費欄」をご参照下さい。

振込みでの支払いを希望される場合は、打合せまたは体験当日までに必要書類の準備をお願いいたします。



カリキュラム一覧

	内容	時間	ページ
講義	<ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア概論 ・ ボランティア活動者のお話 ・ 高齢者施設とボランティア ・ 障害者施設とボランティア ・ 視覚障害者のお話 ・ 災害ボランティアセンターの役割と災害ボランティア 	約50分	2～4
体験	<ul style="list-style-type: none"> ・ 点字体験（※要2時間） ・ 手話体験（※要2時間） ・ 車椅子介助体験 ・ 視覚障害者サポート体験 ・ 高齢者疑似体験 ・ 高齢者ハンドケア体験 ・ 車椅子整備体験 ・ 災害ボランティアセンター体験 		5～8



★ 特記事項 ★

- ①対象は、小学校4年生以上になります。
- ②講義は、学年単位及び全校での依頼も可能です。
- ③体験は原則、クラス単位での実施になります。
- ④依頼に関しまして、「講義」1時間＋「体験」1時間のセットを推奨します。
 (例) 「視覚障害者のお話」全体＋「視覚障害者サポート体験」各クラス
 「高齢者施設のお話」全体＋「高齢者疑似体験」各クラス 等

講 義

ボランティア概論(入門編)

内 容	<p>福祉体験、ボランティア活動をするにあたり、基本的な原則や心構えなどを「ガイダンス」として学習します。</p> <p>また、ボランティア・地域貢献活動センターの役割や実際にボランティア活動を始める準備として、「ボランティア保険」や「ボランティア個人登録」について説明します。</p>
講 師	江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員 1名
経 費	なし
準備品	①プロジェクター ②スクリーン ③ノートパソコン



ボランティア活動者のお話


内 容	<p>実際に活動している方から、活動内容を踏まえたボランティアの心構えや活動の注意点、はじめたきっかけや醍醐味等をお伺いします。</p>
講 師	ボランティア講師 1～2名
経 費	2,000円 (※一人につき、交通費として)
準備品	①講師指定のもの



講 義

高齢者施設とボランティア

内 容	高齢者施設(特別養護老人ホーム等)でのお年寄りの生活や高齢者の特徴について学習します。また、高齢者施設では、どのようなボランティアが求められているのかお伺いします。
講 師	高齢者施設職員 1~2名
経 費	2,000円 (※一人につき、交通費として)
準備品	①プロジェクター ②スクリーン



障害者施設とボランティア

内 容	障害者施設(身体障害者・知的障害者等)では、利用者がどのような生活や作業をしているのか、現場のお話をお伺いします。また、障害を理解することで、ノーマライゼーションの考え方を学習します。
講 師	障害者施設職員 1~2名
経 費	2,000円 (※一人につき、交通費として)
準備品	①講師指定のもの






講 義

視覚障害者のお話

内 容	視覚障害者の日常生活や普段生活で使用している道具のお話をお伺いしながら、自分達が視覚障害者の方のためにどんなことが役にたてるのか、ボランティア精神育成とともに心の学習をします。
講 師	視覚障害者講師 1名
経 費	3,000円(※交通費として)
準備品	①講師指定のもの



災害ボランティアセンターの役割と 災害ボランティア

内 容	大規模災害が発生した場合、災害ボランティアセンターが立ち上がり、多くのボランティアが必要となります。 災害に対する意識を深めると共に、災害ボランティアセンターの仕組みや活動する場合の心構えや基礎知識を学習します。
講 師	江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員 ボランティア講師 (1~2名)
経 費	【江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員】 なし 【ボランティア講師の場合】 2,000円(一人につき、交通費として)
準備品	①プロジェクター ②スクリーン ③ノートパソコン

体 験

点字体験(※要2時間)

内容	①点字の仕組みを理解する。 ②点字で自分の名前を打つ。 ③点字で文章を打つ。(学年や時間などで内容変更有り)
講師	視覚障害者講師 1名 アシスタント 2名 (※変更あり)
経費	【視覚障害者講師】 3,000円 (※交通費として) 【アシスタント】 2,000円 (※一人につき、交通費として)
場所	教室 等
準備品	①点字盤 (1クラス人数分+2個) 当協議会の福祉サービス課までお問い合わせ下さい。 ②点字用紙 (人数分) 「日本点字図書館」よりご購入下さい。 ③50音表 (人数分) データを送付いたしますので、人数分コピーをして下さい。 ※教科書記載のものではないので注意
その他	学校からの最寄りのバス停までの講師送迎をお願いいたします。



手話体験

内容	手話という言葉を用いて、コミュニケーションの世界を広げ、 ノーマライゼーションの理解を深める。
講師	聴覚障害者福祉推進協議会 1クラス、2人派遣(クラス数によって、講師の人数が変わります。)
経費	1人 3,000円 (※講師謝礼として)
場所	教室 等
準備品	①講師指定のもの



体 験

車椅子介助体験

内 容	車椅子の機能や介助方法を学ぶ。 乗車体験もあわせて、障害者や高齢者の気持ちを理解する。
講 師	ボランティア講師 2～4名
経 費	2,000円(※一人につき、交通費として)
場 所	体育館 校庭(晴天時) 等
準備品	①車椅子 (1クラス人数の半分の台数) 当協議会福祉サービス課までお問い合わせ下さい。 ②カラーコーン(10個) ③体育用マット(4枚) ④養生テープ(5個)



視覚障害者サポート体験

内 容	アイマスク体験を通じ、サポートの方法を学ぶ。
講 師	視覚障害者講師 ガイドサポート講師(※白杖体験の場合)
経 費	【視覚障害者講師】 3,000円 (※交通費として) 【ガイドサポート講師】 2,000円 (※一人につき、交通費として)
場 所	教室
準備品	①アイマスク (1クラス人数分) 当協議会福祉サービス課までお問い合わせ下さい。 ②ボックスティッシュ(1箱)他、講師が指定したもの。 ③白杖(※白杖体験のみ) 当協議会福祉サービス課までお問い合わせ下さい。 ④カラーコーン(※白杖体験のみ)





体 験

高齢者疑似体験

内 容	高齢にともなう身体機能の衰えを体験を通して学習し、支援の方法について考える。
講 師	江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員 ボランティア講師
経 費	【江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員】 なし 【ボランティア講師の場合】 2,000円 (※一人につき、交通費として)
場 所	教室 体育館 等
準備品	①高齢者疑似体験セット (1クラス人数の半分数) 当協議会福祉サービス課まで お問い合わせ下さい。



高齢者ハンドケア体験

内 容	簡単なハンドケアの方法を学び、体験を通じ、高齢者への思いやりや人との繋がり大切さを理解する。
講 師	ボランティア講師 5~6名
経 費	2,000円 (※一人につき、交通費として)
場 所	教室 体育館 等
準備品	①ベビーローション(300ml)※無香料 ②清潔なフェイシャルタオル ③ポット(お湯) ④清潔な洗面器(バケツ等)



体 験

車椅子整備体験

内 容	高齢者や障害者を支えている「車椅子の機能」を学ぶとともに、実際にメンテナンスを経験することで、車椅子利用者を支えるボランティア活動を体験する。
講 師	車椅子点検整備ボランティアの会（5～6名）
経 費	なし
場 所	体育館 等
準備品	①車椅子(10台程度) 当協議会福祉サービス課までお問い合わせ下さい。 ②ブルーシート ③その他、講師が指定したもの



災害ボランティアセンター体験

内 容	災害ボランティアとしての意識を高めるとともに、大規模災害が発生した場合に立ち上がる「災害ボランティアセンター」の仕組みについて学習する。
講 師	江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員 ボランティア講師
定 員	20名以上
経 費	【江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員】なし 【ボランティア講師】2,000円（※一人につき、交通費として）
場 所	要相談
準備品	①長机(5脚) ②ホワイトボード(2脚) ※マグネット及びマーカー(数個) ③油性ペン(5本) ④養生テープ(4個)

福祉体験・ボランティア学習(研修) 講師一覧

敬称略

内容	主な派遣ボランティア講師・協力団体名
・ボランティア活動者のお話	江東ボランティア連絡会 江東区ボランティア・地域貢献活動センター登録団体 他
・高齢者施設とボランティア ・障害者施設とボランティア	区内福祉施設の職員 他
・視覚障害者のお話 ・視覚障害者サポート体験	江東区視覚障害者福祉協会 他
・災害ボランティアセンターの役割と災害ボランティア ・災害ボランティアセンター体験	江東区ボランティア・地域貢献活動センター職員 江東区ボランティア・地域貢献活動センター登録団体 他
・点字体験	点訳しんせい 他 (江東区ボランティア・地域貢献活動センター登録団体)
・手話体験	江東区聴覚障害者福祉推進協議会 外部指導部 窓口担当 (※講師は別)
・車椅子介助体験 ・高齢者疑似体験	登録ボランティア 他
・高齢者ハンドケア体験	東京都ビューティーケア赤十字奉仕団
・車椅子整備体験	車椅子点検整備ボランティアの会



令和7年度 福祉体験・ボランティア学習(研修) 依頼実績

依頼校数 (江東区内)	12 校	小学校(8校) 中学校(3校) 高等学校(1校)
児童・生徒数 (延べ人数)	2218名	小学校(1119名) 中学校(415名) 高等学校(684名)

内容	小学校	中学校	高等学校	依頼合計
点字体験	2	0	1	3
手話体験	2	1	1	4
車椅子介助体験	3	0	0	3
視覚障害者サポート体験	3	1	1	5
高齢者疑似体験	3	2	0	5
高齢者ハンドケア体験	0	1	0	1
災害ボランティアセンターの役割	1	0	0	1
依頼合計	14	5	3	22

小学校	有明小学校 第三砂町小学校	香取小学校 第五砂町小学校	水神小学校 第七砂町小学校	浅間堅川小学校 東陽小学校
-----	------------------	------------------	------------------	------------------

中学校	深川第一中学校 深川第八中学校	第二亀戸中学校
-----	--------------------	---------

高等学校	大江戸高等学校
------	---------

